

喜界町図書館

図書館だより

〒891-6201喜界町大字赤連小字樋口前30番地



【通算 第217号】

2014(平成26)年7月21日発行

TEL:0997-65-0962

FAX:0997-65-2523

e-mail:kikailib@town.kikai.lg.jp



《喜界中学校の職場体験》

5月28日～5月30日に喜界中学校の3年生の

伊藤莉緒・幸田千波・酒井里奈さんの3人が職場体験にきました。

職場体験実習生徒の《おすすめの本！》の展示コーナーを作りました。



ポスターを作ったり
自分達で文章を考え
たり、パソコンの
操作が、難しかったです。

3人で意見を出し
合って、展示コーナー
を作成することがで
きました。

どうしたらみんなに
おすすめの本を読
んでもらえるか、考
えながら作るのが
楽しかったです。

《喜界町図書館読書活動推進標語》

「本は家族の一員です！」

あの頃の喜界島

戦中・戦後の

絵画展



8月1日～8月31日

絵画提供 南輝子さん
図書館1階にて展示しております

お願い

貸出カードが、ないとかいられません。
必ずもってきてください。
なくした場合は、図書館にて
お作りします。(再発行料¥200)



(8月) 図書館カレンダー

※ 〇 は、休館日です。(毎週月曜日、第1木曜日)

・開館時間 午前10時～午後6時

(7/22(火)～8/31(日)開館時間 午前9時半～午後6時半)

日	月	火	水	木	金	土
7/27	7/28 休館日	7/29	7/30	7/31	1	2 おはなし会
3	4 休館日	5	6	7 資料休館日	8	9 おはなし会
10	11 休館日	12	13	14 移動図書館 第2保育園・早町 学業	15 第1保育園・子育て 支援	16 おはなし会
17	18 休館日	19	20	21 第3回 ブックスタート	22	23 おはなし会
24	25 休館日	26	27 子育て支援 来館月	28	29	30 おはなし会
31	9/1 休館日	9/2	9/3	9/4	9/5	9/6 おはなし会

おはなし会・ミニ映画

毎週土曜日 午後2時～2時40分

6月の統計

・貸出し冊数
3,980冊
・来館者数
1,392名

H26年度合計
11,182冊
H26年度合計
4,259名

《喜界島の歴史・伝承・伝説を探る》

喜界島の謎・幻の時代(古代より中世・近世の時代)

～9月号～

《8月号からの続き》

○ 土葬：約2m×1mや1m×0.5mの長方形の形をしている土坑墓で、カムイヤキや白磁など再葬墓と同様の副葬品を伴うものもあり、脚を折り曲げた屈葬や伸展葬で埋葬されているものもある。

3期(13世紀～15世紀)・・・土葬(平成18年度半田遺跡など) 小型化した長方形・隅丸方形の設計で、漆を折り曲げた屈葬の状態で土坑内に納められているものが多い。明瞭な副葬品を持つものはない。

《 鍛冶炉跡や石敷遺構について 》

○ 鍛冶炉跡(平成19年度大ウブ遺跡《上段》など)・・・各遺跡に散発的に見られるが、大ウブ遺跡では一箇所で集中して発見されている。そこは、15m四方に約20期が集中しており、その形状は直径約20cmの円形状で、深さ約10cm程度である。周囲は、赤く焼けており、内部には坩堝型滓(カス)や流状滓が混入することがある。周囲の遺物の状況からおおよそ11世紀から12世紀頃のものと考えられる。

○ 石敷遺構(平成18年度前畑遺跡)・・・前畑遺跡では石灰岩をこぶし(拳)大の大きさに砕き敷き詰めた、最大幅約4m、最小幅約2m、全長約40mにわたる石敷遺構を検出した。

遺構は敷かれた面が二面あり、下面にはやや大きめの礫(こいし)が敷かれていた。この遺構は傾斜地に造られており、平坦になるように低い部分には多く入れられていた。隣接する大ウブ遺跡では同様の遺構は確認できておらず、この範囲だけに、展開している可能性がある。石敷遺構からはカムイヤキや白磁や石器などが出土し、12世紀頃のものと考えられるが、年代に関しては慎重に検討する必要があるということである。 文責(登山典壽)



引用文献資料：

喜界島域久道跡群の発掘調査

蓬田直敏

古代末期の境界世界～域久道跡群と石江道跡群を中心として～

ヨーゼフ・クライナー、古成直樹、小口雅史 編

沖縄大百科事典 広辞苑

新 着 本

《おとなの本》

『山女日記』 淡 かなえ著 幻冬舎

このまま結婚してもいいのかしら？

その答えを出すために、初登山に挑戦する主人公律子。女性の心理を丁寧に描かれた共感と感動の一作。

『たまもの』 小池 昌代著 講談社

40歳になって、別れた恋人から山尾という赤ん坊を預かった「わたし」。初老にさしかかり、母と女の狭間を生きる、シングルマザーの日常。

『ピタースイートワルツ』 小路 幸也著 実業之日本社

北千住にある〈弓島珈琲〉。かつて、店主の私は恋人の死に関係する事件に巻き込まれた。珈琲の薫りと不可解な二つの事件に包まれた私の店。無事に解決するのだろうか？

☆『杉下宇京のアリバイ』 碓 隼人著 朝日新聞出版

☆『日本はなぜ外交で負けるのか』 山本 七平著

—日米中露韓の国境と海境— さくら舎

☆『女のきつぷ』 森 まゆみ著 岩波書店

《子どもの本》

『ぴっかぴか すいぞくかん』

なかの ひろみ 文 ひさかたチャイルド

そうじのようすから、すいぞくかんのおもしろさを大発見!! ふだん見れない場面がもりたくさん。新しい発見を楽しんで。。。

『まぜごはん』 内田 眞太郎作 銀の鈴社

少年詩集5作目。その日その日の気分で書いたものばかり。だから詩集のタイトルは、「まぜごはん」。ほくは、竹の子ごはんがだいすきです。あなたは、何ご飯がすきですか？

『おねしょのかみさま』

長谷川 義史 絵 学研教育出版

まいばん、おねしょしてしまう、ゆうちゃん。あさおきると、そこにはおねしょのかみさまが。おねしょをしない、おまじないのこぼれをおしえてもらったのですが・・・おねしょはなおるかな？

☆『ルルとララの Cotton のマカロン』

あんびる やすこ著 岩崎書店

☆『はっけんずかんでんしゃ・しんかんせん』

西片 拓史著 学研教育出版

☆ 怪談オウマガドキ学園 1～5

常光 徹著 童心社